

啓発イベントのコンセプト

◆ 理解の促進、共感人口の拡充 ◆

顕著な普遍的価値の保護・構成資産の保全

“支え手”である人や地域の持続可能な社会の実現



まず、世界遺産の意義と価値の理解促進

清掃活動をととした“支え手＝共感人口”の拡充

古代、東アジアと日本を結ぶ海を介した交流の成就と航海安全を願った、500年以上に渡る国家的祭祀。その祈りは宗像三女神信仰へと発展し、主に宗像で暮らす人々によって、その伝統が今も引き継がれています。それが世界遺産としての評価の一つになっています。

この大切な世界の宝を、そしてそれを育んだ宗像の豊かな自然と暮らしを持続可能なものとするためには、この美しい海を守っていく必要があります。

その一方で、海のごみは後を絶たず、世界では年間800万トン海洋ごみが発生するなど問題となっています。我が遺産群においても、海と一体となっている構成資産の良好な景観を損ねるだけでなく、波とごみが一緒になることによって資産を傷つけたり、世界遺産を守ってきた漁師さんたちの生業にも悪影響をもたらしたりしています。

小さな一歩ですが、一つごみを拾えば確実に一つ減ります。そしてごみを捨てないという習慣にもつながります。海岸清掃に限らず、その行為が世界遺産を守ることになるのです。“世界遺産を守るために何かしたい”という人々の思い束ね、共に行動するキッカケとなることを願っています。

